

# 短大初代学長 Sr.藤森さと帰天

清泉女学院短期大学初代学長シスター藤森さんは今年8月30日元気で百歳の誕生日を迎えましたが、そのあと急速に体調を崩し10月11日安らかに神のみもとに帰られました。

故シスター藤森は、1957年に、長野清泉女学院中学・高等学校の校長に就任して以来、高校長(中学は1959年3月閉校)を17年間、1966年には、後に清泉保育女子専門学校となる幼稚園教員養成所を創設、さらに清泉女学院短期大学を1981年に開設し、それらの校長・学長を務め、まさに長野の清泉育ての親といえます(裏面参照)。故シスター藤森の追悼ミサを12月26日(木)午後2時より本学で行いますので、40代50代



カトリック  
センター  
便り

第10号  
平成25年  
11月19日

## 今月のみことば

わたしは復活であり、命である。  
わたしを信じる者は、  
死んでも生きる。

(ヨハネ3:17)



60代の清泉卒業生に広くお知らせください。詳細は、HPをごらんください。

## 恒例の追悼ミサが行われました

死者の月に先立って、10月30日(木)の放課後、この一年間に亡くなられた本学関係者のための追悼ミサが行われました。

山崎先生が「千の風」を歌ってください、他の歌も先生の声量に誘われて皆大きな声で歌い、また、ハンドベルの演奏も加わり、悲しみの中にも希望にみちた集いになりました。ご遺族の方々も久しぶりに静かに祈られた、泣くことができたといつて感謝してお帰りになりました。

## 清泉ファミリークリスマスの集い

12月14日(土)午後一時半から三時半までホクト文化ホール 中ホールで行われます。第一部は、中高音楽部・演劇部合同で、松本・野沢温泉疎開当時のシスターズ的生活を題材とした作品の上演。第二部は、クリスマスミサです。

一般市民にも開かれています。清泉ならではのものを、誘い合せてぜひ一度は参加してみてください。

なお、大学・短大夫々のクリスマス静修会は、12月18日に本学で行われます。

## 学内探訪 名画をたずねて



昇降口の側面壁にあります

代ギリシャの哲学者達の居る学堂はギリシャ十字形(縦横の等しい十字)を成し、キリスト教とギリシャ哲学の調和を意図しているのかもしれない。

本学、昇降口左手に飾られているこの作品は、盛期ルネサンスの画家ラファエロの代表作「アテナイの学堂」である。教皇ユリウス2世の委嘱を受け制作され、1510年に完成された。現在、ローマのバチカン美術館に「ラファエロの間」と呼ばれる4部屋があるが、そのうちのひとつ「署名の間」(ユリウス2世の書斎兼図書館)の壁画として観ることが出来る。この作品に描かれている人物達は、著名な古代ギリシャの哲学者や科学者達である。

中央に位置するのは、プラトンとアリストテレスと証され、左のプラトンが指を天に向けているのに対し、アリストテレスは手の平で地を示し、それぞれの哲学を象徴する仕草と謂われている。古

## 「アテナイの学堂」

ラファエロ・サンティ